

## 共汗でつくる新「京都市動物園構想」

### 『ゾウの森』

蓄積されたトレーニングのノウハウを生かし、生態だけでなく、働く動物としての人間との関わりを学べる展示をします。アジアゾウは社会性を持って生活するため、群れで飼育し、繁殖を目指します。



『平成27年 春オープン予定!』

『平成27年 夏オープン予定!』



### 『京都の森』

水辺から里山、深山など京都の自然景観を再現します。京都に生息する動物を展示し、森の中を散策しながら観察することができます。水辺の環境を整備し、ホテルの定着と増殖及び日本産希少淡水魚であるイチモンジタナゴの保全繁殖にも取り組んでいきます。

## できごと

### オープン式典



☆『ゴリラのおうち〜樹林のすみか〜』が4月27日にオープンしました! ゴリラたちが広くなった新しい「おうち」で、殿横無尽に行動しているところを是非見に来てください!



### 朗報♪



☆「ミライ」が妊娠しました!「キヨミズ」との5番目の子どもになります。「シウン」が3月3日に浜松市動物園へお嫁に行き、寂しかったキリン一家にとって嬉しいお知らせです! 出産は平成27年3月下旬頃になります。元気な赤ちゃんが生まれてくるよう祈っていきましょう。

### 安らかに

★3月22日にジャガーの「グランデ(オス)」が循環器不全のため死亡しました。25才でした。長い間、皆さんに親しまれてきた存在なだけに残念です。今まで温かく見守っていただき、ありがとうございました。



## 寄付のお知らせ

ありがとうございました

京都岡崎白川ライオンズクラブ様からベンチを、国際ソロブチミスト京都様からハンズオンサイン「ゴリラの手」を、国際ソクタ京都Ⅱクラブ様からベビーカーを、京都市花き振興協会様からソウとウサギの苔玉風オブジェを寄贈していただきました。



# ゴリラのおうち

## ～樹林のすみか～



モモタロウ

性別：オス  
 誕生日：2000年7月3日  
 出生地：上野動物園  
 来園日：2010年10月18日



ゲンキ

性別：メス  
 誕生日：1986年6月24日  
 出生地：京都市動物園



ゲンタロウ

性別：オス  
 誕生日：2011年12月21日  
 出生地：京都市動物園

モモタロウと  
 ゲンキの子ども



グラウンドに張り出したメイン観覧エリアでは、ゴリラの声や臭いが感じられる工夫を施し、ゴリラたちと共に森の中にいるような感覚を味わっていただけます。



ゴリラの特徴や日本のゴリラの情報などを掲示したり、実物大の手の模型を設置。触って大きさを確認できます。





## 《観覧エリアA》

室内からゴリラを御覧いただけます。また、ゴリラの生息環境を映像を交えて紹介しています。ゴリラがモニターの後ろのガラス面を通ると、まるで森の中で出会ったかのような気分になれるかもしれませんよ！



## 《多目的室》

ハズバンダリートレーニング(動物の飼育や健康管理のための訓練)やタッチパネルを用いた勉強を行い、ゴリラの知性についての研究をします。既にチンパンジーやマンドリル・シロテテナガザルでも実施しています。



## 《給餌装置》

採餌時間を長くすることで退屈時間を減らす目的で給餌装置を再設置しました。壁に取り付けた「ガラボン」は、回転させることで穴の開いたところから餌が出てきます。窓際に設置されている「フードキャッチャー」は、木の枝など道具を使用しないと餌が取り出せない仕組みになっています。



## 《ナックルウォーキング跡》

ゴリラが四足歩行をするとき手のひらではなく、手を握って指の背を地面につけて歩きます。四足歩行の跡を観覧エリアの足元につけました。



## 《グラウンド》



樹上生活をするゴリラ本来の行動を引き出すため、いくつかの鉄骨を組み合わせ、限られた空間を三次元的に移動できるようにしました。手と足で丸柱を上手につかんで登り、高い鉄骨の上でも平気で歩くところが見られます。屋根の上からも餌を与えているため、天井にぶら下がる姿も見られます。



引越後 **モモタロウ** は新しい場所で慎重に行動していましたが、今では広いグラウンドのどこへでも行けるようになりました。お客様に背中を向けて座っている時は、立派なシルバーバックを見ることが出来ます。



**ガンキ** は新しい環境にすぐに慣れ鉄柱にも上っていましたが、今はモモタロウが上って餌を取っていきその下で、要領よく落ちてきた餌を拾って食べています。最近では、グラウンドでのんびり昼寝もしています。



**ゲンタロウ** はミルクを卒業し、両親に交じり負けないくらいモリモリ食べています。大好きなピーマンを見つけた時は、見つからないようこっそり食べる技も身に着けました！そのおかげでお腹もぶっくりしてきました。



『ゴリラのおうち～樹林のすみか～』は、飼育員が実際にゴリラの生息地であるアフリカのガボン共和国で、ゴリラの観察を通して得られた情報を基に造られた建物です。今までの、地上で生活しているゴリラのイメージから樹上のゴリラへと大きく変わりました。皆さんも自分の目で樹上のゴリラを実感してみてください。

種の保存展示課 伊藤二三夫



## 京都市動物園における

## ゾウの繁殖プロジェクト

## ສວນສັດແຫ່ງເມັອງກຽວໄຕ

フオス語で「京都市動物園」



サバイディー！（ラオス語で「こんにちは！」の意味）

既に御存知の方もいらっしゃると思いますが、現在取組が進められている「京都市動物園におけるゾウの繁殖プロジェクト」の進捗状況について御紹介します。

## はじめ

平成24年5月29日 ケントン・ヌアンタシン駐日ラオス特命全権大使が門川大作京都市長を表敬訪問された際、市長から大使に京都市動物園が整備を予定している「ゾウの森」にラオスからの子ゾウ寄贈を要請したのがはじまりでした。同月31日には、大使が動物園を視察され、当時の園長（現ゾウの繁殖プロジェクト総括監督者・北区長）から、「ゾウの森」整備事業の概要及びゾウの飼育管理について説明しました。



## ラオス人民民主共和国



ラオス  
人民民主共和国

ラオスは、東南アジアに位置し、国土は日本の約5分の3、人口約651万人、首都はビエンチャン市であり、また、アジアゾウ生息国13箇国のうちの1つで、「100万頭のゾウの国」とも呼ばれています。ベトナム・カンボジア・タイ・ミャンマー・中国と隣接した内陸国で、タイやミャンマーとの国境にはメコン川が流れています。

## プロジェクトの調印

平成24年10月にラオスを初めて訪問し、実務協議を開始し、平成25年7月12日、動物園とラオス人民民主共和国天然資源・環境省森林資源管理局との間で「京都市動物園におけるゾウの繁殖プロジェクト」に関する覚書を調印しました。ラオスからアジアゾウ4頭（オス1頭、メス3頭）の寄贈を受け、京都市動物園で飼育しながら、行動学的・繁殖生理学的研究を実施し、繁殖を目指すことになったのです。



## 現状

ラオス政府が、確保した2頭のゾウを、平成26年3月22日にビエンチャン市近郊に移送し、飼育管理を行っています。ラオス国内の移送は、さすがゾウの生息国の使役ゾウだなどと感心させられるほど円滑なものでした。なお、山越えルートだったため霧が深く、視界が悪い状況でしたが無事に移送が終了してホッとしました。



2頭とも健康状態は良好で、4月25日にはビエンチャン市で市長とも無事に対面を済ませました。

現在、残りのオス1頭とメス1頭をラオス政府が確保し、4頭そろって、今年12月頃に予定している京都への輸送、そして来年3月頃の動物園でのお披露目に向けて準備を進めていきます。皆さん、是非楽しみにお待ちください。

生き物・学び・研究センター 和田晴太郎

定期購読を希望される方は、82円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作  
事業所の名称：京都市動物園  
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法蓮寺町12  
動物取組事業の種別：展示

登録番号：070051  
登録年月日：平成19年5月22日  
有効期限の末日：平成29年5月21日  
動物取扱責任者氏名：園長 栗

